

# 豊田中央クラブ 優勝

豐田中央新聞

第67回中日少年野球大会  
豊田・みよし地区予選



優勝が決まり喜ぶ豊田中央ナイン=25日、豊田市毘森公園野球場

第67回中日少年野球大会は25日、豊田市毘森公園野球場で決勝戦があり、豊田中央クラブが3-1で豊田南クラブに勝利し優勝を果たした。同クラブは8月より熱田・瑞穂球場で行われる愛知県大会に出場する。

# 2期生嬉し初V 南クラブに競り勝ち

▽決勝  
豊田中央 03  
(中) 柿崎・宮  
(南) 眞崎・峰

先発を決めた。決して本調子ではなかつたと思うが智仁は粘り強く投げてくれた」と川本監督は先発した柿崎をねぎらった。柿崎は「初回のピンチを抑えたことで楽になつた。2回以降は思い切つて投げられたし、無失点に抑えられたのは守備のおかげ。素直にうれしい。

県大会も出番があれば

好捕でチームのピンチを救つた金澤は「前回（サヨナラ負けをした試合）と同じ打者で、全く同じところに打球が飛んできた。落ち点にまっすぐに走ることだけを考えた。捕れて良かつた」と振り返った。前回南クラブに負けた時、「このままではいけない」と指導者と話し合いの機会を持ち、自分たちの考えを彼らなりに勇気を出して伝えた。そこで積極的に発言した選手の中にこの金澤もいた。チームの問題と向き合いで意欲を見せた。最終回

▽決勝戦までの勝ち上がり  
2回戦  
豊田中央 5 - 0 上郷中学校  
3回戦  
豊田中央 15 - 0 井郷・藤岡南・逢妻合同  
準決勝  
豊田中央 3 - 2 竜神中学校

に微笑んだ。（宇田）

田中央クラブナイ、ヤレンジ」し続けた。豊

み、「一丸となつて」「野球の神様は最後

戦評 先発の柿崎（3年・梅坪台）は立ち上がりにやや硬さが見られ、四球と味方のエラ一で1死満塁としたものの、相手の拙攻に助けられ初回のピッチを無失点で切り抜けると、2回表に主将の崖川（3年・朝日丘）の3塁線を破るヒットをきつかけに相手のミスに乗じて先取点をあげ、8番の村上（3年・朝日丘）、9番の深谷（3年・朝日丘）が



先制のホームを踏む主将の岸川(3年・朝日丘)

守りに助けられ、強打線を5回1安打に抑えた。6回から登板した宮崎（2年・高橋）が1点を失つたものの最終回には金澤（3年・梅坪台）が抜ければ完全に長打という打球をフェンス際で好捕しチームを救うプレーを見せた。強打の南クラブに対し、要所を締める堅実な守備で終始相手に流れを渡さなかつた中央クラブに軍配が上がつた。



打撃面でも活躍した金澤



しぶとい打撃と足でチームに貢献した深谷（写真中央）



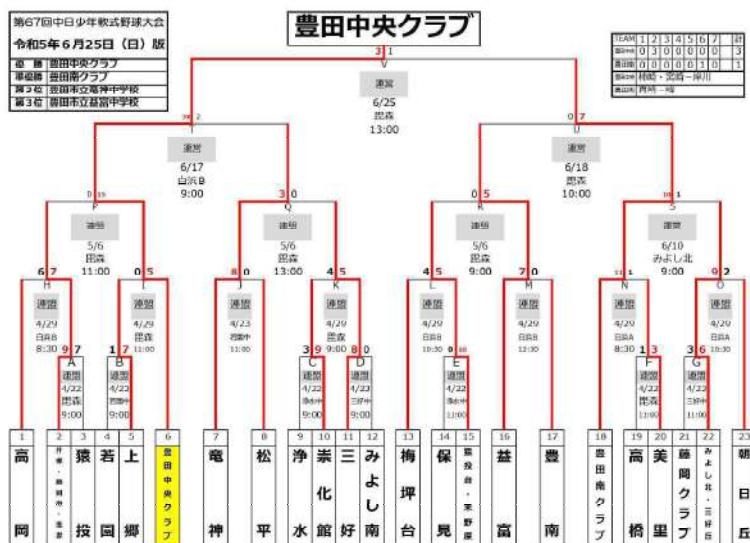
打撃面でも力をつけてきた中條稜（写真中央、3年・梅坪台）



チャンスで粘り強い打撃を見せた村上



攻めのピッティングを見せた柿崎



準決勝では安定感のある投球を見せた鈴木洸（3年・松平）



持ち前の明るさでチームを盛り上げた中條羚（3年・梅坪台）

# ◆戦いの軌跡◆



決勝戦で攻守を見せた三浦  
(写真左)と園田(写真右)



打撃のボテンシャルはNO.1の西尾(写真中央、3年・梅坪台)



打撃面で手一ハを引っ張った松井（3年・豊南）